

Powell & Son

パウエル&サン デヴィッド&カラム・パウエル

「原点に戻ってワイン造りを」—デヴィッド・パウエルの復活



◆**醸造家デヴィッド・パウエル**◆ オーストラリアワインの雄「トルブレック」のワインビジネスをゼロから立ち上げた伝説の男、デヴィッド・パウエル。若かりし頃、スコットランドの高地で木こりとして働き、後に故郷の南オーストラリアに帰郷するとピーター・レーマンやロックフォードのようなオーストラリアワインの業界大手で働き、この頃から一年の半分を北半球で過ごし、北イタリアや南仏ローヌで収穫の仕事に従事するようになります。そして90年代初頭、ワインの過剰供給で樹齢の古いブドウ園を手付かずで放置していた農園主たちに「シェア・ファーマーリング」の契約を持ちかけ、自らのワイン作りを開始します。この手法でバロッサの地で最も樹齢の古い神聖な古樹から採れるブドウの入手が可能となったパウエルは、このワイン・ブランドにスコットランドで妻と出会った思い出の場所に因んで「トルブレック」と命名。たちまち世界的な評価を得るに至りました。そのワインは、「まるで一方の足を北半球に置きつつ、もう一方の足を南半球に置いているかのようなワイン」と評されました。

◆**Powell & Son の誕生**◆ 2013年にトルブレックを去ったパウエルは、2014年に息子のカラムと共にワイナリーを立ち上げ、パウエル&サンと名付けました。パウエル&サン設立当初よりカラムとデヴィッドが目標の1つとしたのがイーデン・ヴァレーを前面に打ち出すことで、この卓越したテロワールの世界的な認知度を高めることでした。イーデン・ヴァレーのユニークな個性を打ち出したリースリングと2つのシラーズをリリースしたのもこのためです。バロッサとイーデンに点在する6つの単一畑は、この土地の土壌と気候の多様性を雄弁に物語ります。何れのワインも畑に最初にブドウを植樹した初期入植者の農家の名前と畑の所在地であるサブリージョンの名前を冠しています。

ブドウ栽培は、全て自然環境に配慮し、有機栽培かビオダイナミのいずれかを採用しています。剪定から畑の手入れに至るまで全てを自分達の手で行い、毎年1年のうち3ヶ月間をブドウの剪定に充てています。開放型コンクリートタンクでの発酵、ルモンタージュ、バスケット・プレスを含む酸化作用の促進を促す醸造手法を用い、熟成用の樽は全てフレンチオークを使用。大きめのフードルと小型のバリック、パンチオン(大樽)を組み合わせ、ワインの個性とテロワールの持ち味を引き出しています。フレッシュな果実感と生き生きとした快活な味わい、一切妥協を許さないテロワールの表現。栽培と醸造プロセスにおけるあらゆる選択・決断は、全てこの2つのクオリティのバランスを取るという原則に基づいて下されます。

◆**ワイン・アドヴォケート #238号 2018/9/1 掲載記事**◆ デヴィッド・パウエルは、1994年にトルブレックのワインブランドを独力で立ち上げた醸造家だ。2016年ヴィンテージは、デヴィッドと息子のカラムにとってパウエル&サンの銘柄でリリースする3度目のヴィンテージとなる。ブドウ畑の多くは、以前デヴィッドがワイン作りをしていた頃と似たものだが、息子カラムがワインのスタイルに大きな影響を与えたことは疑いようがなく、故にトルブレックのワインとは明らかに異なる。変化自体は微々たるものだが、フィネスで複雑味を引き出すため、樽香の出し方や香味成分の柔らかな抽出方法に更なる緻密さが感じられる。「カラムが加わり、新たな視点をもたらしてくれたことが必要不可欠な要素となった」とパウエルは言う。パウエル&サンのラインナップにおける目玉となるワインは、全く異なる持ち味を持つテロワールから、それぞれに全く個性を異にする味わいを引き出したシュタイナート・シラーズとクレール・シラーズだが、今回リリースされるワインに関しては、どのワインを選んだところで決して間違いはない。

■**2014年ヴィンテージ情報**■ 近年オーストラリアでは、過酷な気象条件がますます頻繁に見られるようになりつつありますが、2014年は、霜、暴風、熱波といったあらゆる異常気象に見舞われたチャレンジングな年でした。この年の収穫量は例年よりも低く、グレート・ヴィンテージとは呼べないまでも、どのブドウ品種においても全体的にクオリティは確かな年となりました。

■**2015年ヴィンテージ情報**■ 2015年は、例年通りの多雨多湿な冬と穏やかな春、素晴らしい着果により最高のスタートを切りました。乾燥した春に続き、病害もなく穏やかに乾燥した夏を迎え、ブドウは豊かな酸を蓄え、色味と果実味がよく凝縮しました。1月は暑く乾燥した風の多い気候で幕を開けたものの、第1週目の終わりには、60~75ミリ程の雨が降り、過去11年間で最も冷涼な1月となりました。乾地農法で育つ古樹にとっては正に恵みの雨となり、続く2~4月の穏やかな天候により、最高の収穫を迎えました。リースリングとシラーズにとっては特に当たり年で、素晴らしくピュアな果実味に美しくバランスのとれた酸、最高の熟成ポテンシャルを備えたエレガントなヴィンテージに仕上がりました。

■**2016年ヴィンテージ情報**■ 12月は気温が高く、夏の間は比較的雨のない乾燥した天候が続いたため、ブドウの熟成期を1月まで早めましたが、その後、2度ほど大雨に見舞われた影響で収穫期は秋の暮れ頃まで延びました。その後は穏やかな気候が続いたため、ブドウの糖度は上がり過ぎることなく、収穫前のハングタイム(ブドウが木に実っている期間)を長く取ることが出来ました。収穫されたブドウは、糖度が極めて低くて酸が高く、これまでに見たこともない濃厚な色合いと果実味を湛え、ストラクチャーのしっかりとした素晴らしい深みと旨味のあるワインに仕上がりました。2016年ヴィンテージは、長期熟成力の極めて高いワインとなるでしょう。

■**2017年ヴィンテージ情報**■ 前年よりも遅く収穫を迎えた2017年は冷涼で雨の多い天候と共に幕を開け、この影響で初期の病害リスクは高まりましたが、近年のヴィンテージに見られるような乾燥や干ばつによる問題は一切なく、オーストラリア全土に渡って豊富な収穫量に恵まれました。収穫期を通して乾燥した良い天候が続いたため、全体的に非常にクオリティの優れたヴィンテージとなりました。

■**2019年ヴィンテージ情報**■ 夏の暑く温暖な気候を特徴とする2019年の生育期は、開花期に目立った風雨や雹に見舞われることはありませんでしたが、広範囲にわたる霜に3度も立て続けに見舞われたため、通常より早く収穫を迎えた低収量の年となりました。このような気候条件により、ブドウは例年よりも小さく凝縮感のある色の濃い実を付け、重厚で肉付きの良い果皮が発達しました。収穫量は落ちたものの、色味、タンニン、アロマの凝縮したクオリティの高いヴィンテージとなりました。

~Dry White Wine~

2019 Eden Valley Riesling

上代価格 ¥4,000 (税別)

イーデン・ヴァレー・リースリング

イーデン・ヴァレーのフラックスマンズ・ヴァレー高地に広がる5エーカーの畑に育つ樹齢90年の古樹のリースリングは、繊細で華やかなアロマが香るエレガントなスタイルで、リリースから10年間は熟成の効く寿命の長い白ワインです。残糖を一切残していない辛口の白ワインですが、寿司や天ぷら、特に白身の刺身と合わせると繊細な果実の甘さがふわりと香り立ちます。**※スクリューキャップ仕様**

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州イーデン・ヴァレー(サブリージョン:フラックスマンズ・ヴァレー) 品種:リースリング 100% Alc:12.5% 樹齢:90年 畑の標高:440m 土壌:粘土の上に石英質の黒いローム土壌が連なる 醸造:ブドウは手摘みして房ごと圧搾後、ステンレスタンクで低温発酵。その後再び冷却して安定させ瓶詰。生産量:400ケース。

■**コメント**■ 熟れた柑橘系果実の浮き立つようなアロマにグアバや濡れた石を思わせるミネラル香が微かに香る。ワインは澁刺とした味わいで、真っ直ぐな酸が感じられ、ライムジュースやロックメロンの風味が広がる。力強い酸がゆったりとした余韻の長い後味を生む。リリース直後から楽しめるワインだが、今後10年は熟成が効く。サブルする前に軽く冷やすと良い。

★**相性料理**:2019年のイーデン・ヴァレー・リースリングは、天然の牡蠣やあらゆる魚料理、スパイシーな食べ物とも抜群の相性。

2018 **ヴァンテージ★ジェームズ・サックリン 94点**:レモンやライム、パパイヤの風味を特徴とする硬質で密度が高く深みのある白ワイン。フルボディの重層的で可憐な味わい。スパイシーでミネラリーなスタイル。今が飲み頃。スクリューキャップ仕様。<2019/5/15掲載>



~Dry Red Wine ~ (Grenache Base)

2017 Riverside GMS (Grenache, Mataro, Shiraz)

上代価格 ¥3,100 (税別)

リバーサイド・ジー・エム・エス

1800年代から続く1000エーカーの牧場の一面に育つ樹齢20年程の若木から収穫されたグルナッシュ、マタロ、シラーズを品種ごとに別個に醸造し、瓶詰前にブレンド。年間生産量は3000ケースでドメヌの全生産量の半分を占めています。**※スクリューキャップ仕様**

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州バロッサ・ヴァレー(サブリージョン:リンドック) 土壌:地層の深い茶褐色のローム土壌 品種:グルナッシュ 70%、マタロ 20%、シラーズ 10% 平均樹齢:20年 Alc:14.5% 醸造:バスケット・プレスで優しく圧搾し、品種ごとにルモンタージュしながらコンクリートタンクで発酵。その後、グルナッシュの50%は、ステンレスタンクで熟成。残りのグルナッシュ50%とマタロ、シラーズは容量4500Lのフレンチオークのフドルで15カ月熟成させ、無ろ過・無清澄で瓶詰。年間生産量:3,000ケース

■**コメント**■ 2017年のリバーサイドは、熟れたキルシュや砂糖漬けのチェリーやプラムのアロマが際立つ。味わいは柔らかな濃厚で、繊細なテクスチャーを持ち、マタロならではの独特なタンニンがしっかりと骨格を保持している。今後7年間が飲み頃。

2016 **ヴァンテージ★パーカーポイント 91点**:フルボディのワインだが、フローラルで繊細な味わい。シルキーで滑らかなテクスチャーを湛え、チェリーフルーツや深みのある大地の香りが仄かに感じられる。<飲み頃:2018-2022年 | 2018/9/1掲載>



2014・2016・2017 Barossa Valley GSM (Grenache, Shiraz, Mataro) 上代価格 ¥7,500 (税別)

バロッサ・ヴァレー・ジーエス・エム

偉大なローヌ原産の3品種の個性が余すところなく引き出されたワイン。グルナッシュが醸す赤果実とキルシュ、ブラックチェリーの力強いアロマに、シラーズとマタロ特有の挽き肉、なめし皮、獣肉、重厚なスパイスの風味が加わります。

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州バロッサ・ヴァレー(サブリージョン:セッペルツフィールド、マランガ、エベニーザー) 樹齢:60~150年 栽培:乾地農法・有機栽培 醸造:品種ごとに個別醸造。1日に2度ルモンタージュしながら開放型のコンクリートタンクで発酵。その後、2017年は、容量2300Lのフレンチオークのフドルに移し、野生酵母でのマロラクティック発酵を経て15ヶ月熟成。2014年と2016年は、容量4500Lの大樽で12ヶ月熟成。ブレンドし、無ろ過・無清澄で瓶詰。

【2017】 品種:グルナッシュ 60%、マタロ 20%、シラーズ 10% Alc:14.5% 生産量:1,000ケース

【2016】 品種:グルナッシュ 70%、シラーズ 20%、マタロ 10% Alc:14.5% 生産量:850ケース

【2014】 品種:グルナッシュ 70%、シラーズ 20%、マタロ 10% Alc:15% 生産量:450ケース

■**2017コメント**■ ベリー系果実と熟れたプラムを思わせるグルナッシュの強く陶酔させるようなアロマが際立つ。シラーズとマタロがワインの味わいに複雑味を与え、濃厚さと重量感を湛えつつも、きめ細やかで引き締まったタンニンを持つワインに仕上がっている。リリースから15年間が飲み頃。鴨肉や羊肉を使った料理と最高の相性。

■**2016コメント**■ キルシュ、チェリー・コンポート、ブラッド・プラムのアロマが豊かに香り、仄かなヒマラヤスギとユーカリの木を焦がしたようなスモーキーなニュアンスが複雑味を添える。味わいは円やかで、黒果実の風味としなやかなテクスチャーを湛えた伸びのある味わいが染み渡るように口内を満たし、余韻の長い後味を生む。

2016 **ヴァンテージ★パーカーポイント 94点**:パウエルワインの中で最高のコストパフォーマンスを誇る、最も官能的なワインが2016年グルナッシュ・シラーズ・マタロだ。セッペルツフィールドに1901年に植樹されたグルナッシュがブレンドの60%を占めるこのワインは、リバーサイド・グルナッシュよりも更に芳醇で深く深みのある味わいが感じられる。セージとリコリスの香りがブラックチェリーのアロマに趣のあるニュアンスを添える。素晴らしい凝縮感ある重層的な味わいのフルボディ。<飲み頃:2018-2030年 | 2018/9/1掲載> 他誌評価:★**ワインスペクテーター94点**

■**2014コメント**■ チェリー・リキュールとブラックベリー・コンポートの濃厚で薫り高いアロマに、スパイスとアニスの香りが仄かに香る。グルナッシュの鮮やかな果実感を湛えた官能的でしなやかな味わい。黒い果実の味わいとヴェルヴェットのように柔らかなタンニンが際立つ骨格の良い味わいがフィニッシュまで途切れなく続く。

2014 **ヴァンテージ★パーカーポイント 93点**:ガーネット色の色調。心地よい大地と肉の香りが乾燥させた桑の実、キルシュ、スパイスの箱の香りを包み、仄かな花のポプリのニュアンスがふわりと香る。味わいはフルボディで、魅惑的なスパイスケーキとベリーの風味と共にヴェルヴェットのようなタンニンとフレッシュな味わいが広がり、浮き立つような高揚感を生む。余韻の長い後味がどこまでも続く。<飲み頃:2016-2024年 | 2016/6>



2016 Brennecker Seppeltsfield Grenache

上代価格 ¥32,000(税別)

ブレネッカー・セッペルツフィールド・グルナッシュ

石灰質土壌に赤粘土が連なる急斜面に育つグルナッシュは、熟成するとフェノール成分が極めて高く、素晴らしい骨格と堅牢なタンニンを備えた赤ワインに仕上がります。ヌフ・デュ・パプやスペインのグルナッシュに比肩する実力を秘めたユニークな個性が光ります。

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州バロッサ・ヴァレー(サブリージョン:セッペルツフィールド) 品種:グルナッシュ 100% 植樹年:1901年 標高:260m 土壌:石灰質の下層土に重厚な赤粘土が連なる Alc:15%(2017)/14.5%(2016) 醸造:1日に2回モンタージュをしながら、開放型コンクリートタンクで発酵。バスケット・プレスで圧搾。野生酵母でのマロラクティック発酵を経て、フレンチオークの新樽バリックで熟成(2017:16ヶ月/2016:18ヶ月)。無ろ過・無清澄で瓶詰。生産量:110ケース(2017)/125ケース(2016)

■**コメント**■ 熟れた赤いチェリーと赤スグリのアロマがルバーブ、キルシュ、トルコ菓子の香りと絡み合い、ヒマラヤスギと白胡椒のニュアンスが仄かに香る。チェリーの種とクランベリーを思わせる赤果実の官能的な味わいを滑らかなタンニンが支える。赤果実、ヒマラヤスギ、スパイス、仄かなヴァニラとシナモンの複雑な風味が層を成し、贅沢で芳醇な味わいが後味まで続くこの上なく官能的なワイン。

★**パーカーポイント 95 点**:2016年ブレネッカー・グルナッシュは、生産量 150 ケースで、瞬間に売り切れてしまうに違いない。新樽 100%のトンセ産バリックで熟成。ウッズモークや砕いた石、鉛筆の削りくずのニュアンスが微かに香る。味わいはフルボディで、クリスタルのように透明感のあるピュアで鮮やかなクランベリーやチェリーパイの風味が感じられる。驚くほどにキレのあるシャープな酸を湛え、ハーブやセイボリーの香りがピリリとした余韻の長い後味を生む。しなやかなタンニンのお蔭で既に心地よい味わいが楽しめるが、調和のとれた柔らかな味わいを増すまで、数年間はセラーで寝かせたい。◀**飲み頃:2020~2030年 | 2018/9/1 掲載**▶ 他誌評価):★**ワインスペクテーター 96 点**



~Dry Red Wine~ (Shiraz Base)

2016・2017 Barossa Valley Shiraz

上代価格 ¥4,200(税別)

バロッサ・ヴァレー・シラーズ

マランガ、セッペルツフィールド、リンドック・ヴァレーの畑で育つ平均樹齢 20 年程の若木のシラーズをブレンド。バロッサ・ヴァレーのテロワールを最もピュアに表現した芳醇でスパイシーな味わいは、ステーキや赤身の肉と最高の相性です。

※【2016VT】:スクリュウキャップ仕様 | 【2017VT】:コルクキャップ仕様

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州バロッサ・ヴァレー(サブリージョン:マランガ、セッペルツフィールド、リンドック) 品種:シラーズ 100% Alc:14.5%(2017&2016) 平均樹齢:20年 土壌:粘土質の下層土に暗い赤茶色の砂と赤い粘土が連なる 醸造:シラーズは、手摘みして開放型コンクリートタンクで発酵させ、バスケット・プレスで圧搾。フレッシュな果実味を出すため容量 4500Lのフレンチオークのフールドで15か月熟成させた後、無濾過・無清澄で瓶詰。生産量:2,700ケース(2017)/2,000ケース(2016)

■**2017 コメント**■ 黒鉛、タール、塩漬肉、熟れた黒果実を思わせる深みのある香り。口に含むと熟れた果実味を持つフルボディの味わいが感じられ、旨味のあるニュアンスと乾いた塵っぽいタンニンが脇をしっかりと固めている。豊かな黒果実と白胡椒を思わせるスパイスの風味が後味に広がる。今後 15 年間で飲み頃。どんな肉料理とも最高の相性。

2017 **ヴァンテージ★ジュームズ・サックリン 92 点**:ブラックベリーを思わせる真っ直ぐでストレートな果実味を備えたスタイルで、非常に贅沢で親しみやすい味わいを持つ早飲みタイプのワイン。すぐに飲んでも良いが熟成も効く。◀**2019/5/16 掲載**▶ 他誌評価):★**ワインスペクテーター 93 点**

■**2016 コメント**■ ダークプラムとブラックベリーの芳醇な果実味が感じられる。タールと黒鉛の香りが後に続き、仄かなドライハーブと煙草のニュアンスが香る。味わいは円やかでしなやかな黒果実の味わいに、しなやかなタンニンが骨格を与え、珈琲の粉末とヒマラヤスギの風味が広がる。ゴージャスな黒果実の味わいと白コショウのスパイシーな風味がフィニッシュに彩りを添える。

2016 **ヴァンテージ★パーカーポイント 91 点**:パウエルが少量生産の高額なワインしか生産しないと思っている読者もいるかもしれないが、2016年のバロッサ・ヴァレー・シラーズは、実にリーズナブルな価格帯だ。マランガで育つ樹齢 20~30 年のシラーズをフールドで熟成させたミディアム~フルボディのワインで、開栓直後は、タールや黒いオリーブの香りが感じられ、デキャンタージュで空気に触れさせると、チェリーやブルーベリーを思わせる果実のアロマが花開くように香り立つ。繊細なタンニンがシルキーで余韻の長い後味を生む。◀**飲み頃:2018-2025年 | 2018/9/1**▶ 他誌評価):★**ワインスペクテーター 92 点**



2016・2017 Barossa & Eden Valleys Shiraz

上代価格 ¥7,500(税別)

バロッサ&イーデン・ヴァレー・シラーズ

2 つの偉大なテロワールの個性を融合させたワインです。バロッサ・ヴァレー特有の男性的で力強い黒果実とアニス、スマレの花の濃厚なアロマに、イーデン・ヴァレーの女性的でエレガントな酸と仄かなハーブのニュアンスが香ります。

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州バロッサ・ヴァレー(サブリージョン:マランガ)&イーデン・ヴァレー Alc:14.5% 品種:イーデン・ヴァレー・シラーズ 50%(樹齢 40 年以上)、バロッサ・ヴァレー・シラーズ 50%(樹齢 60 年以上) 醸造:収穫区画ごとに開放型のコンクリートタンクで発酵。1日に2回モンタージュ。バスケット・プレスで優しく圧搾して容量 4500Lのフレンチオークのフールドに移し、野生酵母で自然にマロラクティック発酵させた後、15ヶ月熟成し、無濾過・無清澄で瓶詰。生産量:950 ケース。

■**2017 コメント**■ スマレの花とイバラの浮き立つようなアロマに黒果実と挽き肉の香りが感じられる複雑味のあるワイン。贅沢で重厚な味わいだが、浮き立つようなナチュラルな酸と赤果実の香りを保持しており、後味にフレッシュな印象を与える。今後 20 年が飲み頃。重厚なソースをかけた大ぶりの肉料理などと抜群の相性。

■**2016 コメント**■ 焼きプラムとフレッシュなチェリーのアロマに、掘り起こした土と挽き肉の風味が表情豊かに香る。柔らかなテクスチャーとコクのあるタンニンは、イーデン・ヴァレーの典型的な特色。黒果実や肉、ブラックオリーブのニュアンスを湛えた複雑な味わい。

2016 **ヴァンテージ★パーカーポイント 94 点**:価格を加味すれば、GMS とバロッサ & イーデン・ヴァレー・シラーズがパウエル & サン のワインの中で筆者が最も好きなワインだ。イーデンとバロッサのシラーズを 50 対 50 の割合で使用し、それぞれ別個にフールドで熟成させブレンドしている。ストレートなバロッサ・ヴァレー・シラーズよりもフローラルでガリグに似たアロマが感じられ、桑の実やブルーベリーを思わせる果実味が口内で心地よく溶け合う。クリーミーなテクスチャーを湛えたリッチで凝縮感のあるフルボディで、ヴェルヴェットのように滑らかな後味が広がる。エントリーレベルのワインに比べ、明らかに格上のワインと言える。◀**飲み頃:2018-2030年 | #238/2018/9/1**▶ 他誌評価):★**ワインスペクテーター 93 点**



2016・2017 Loechal Eden Valley Shiraz

上代価格 ¥15,000(税別)

レイケル・イーデン・ヴァレー・シラーズ

半世紀以上前にレイケル家が植樹したこの単一畑は、イーデン・ヴァレー最南端にあり、雲母片岩に堆積した石英と砂利が混じる砂礫質のローム土壌を持ち、極めて低収量なため凝縮感のある芳醇で複雑な味わいのワインが出来ます。

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州イーデン・ヴァレー最南端 品種:イーデン・ヴァレー・シラーズ 100% 平均樹齢:60年 Alc:14%(2016)/14.7%(2017) 標高:440m 土壌:粘土に黒い雲母片岩が連なる 醸造:開放型コンクリートタンクで発酵。1日に2回ルモンタージュ。バスケット・プレスで圧搾し、樽に移して野生酵母でマロラクティック発酵させた後、フレンチオークのバリック(ドミニク・ローランの新樽)で熟成(2016:15ヶ月/2017:18ヶ月)させ、無濾過・無清澄で瓶詰。生産量:300ケース(2016)/450ケース(2017)

■**2017 コメント**■ イーデン・ヴァレーにある単一畑の西側の区域に育つ古木から収穫した2017年のレイケル・シラーズは、森の果実やスマイレの花、セージのアロマが飲み始めから香り、ローストした肉やベーコンの脂、耕した大地を思わせる複雑味のある香りが加わる。口に含むと、しなやかで丸みのある果実味が感じられ、イーデン・ヴァレーに典型的な煤(すす)のようなタンニンが土台を成している。今後20~30年間の飲み頃。肉料理、特に鹿肉のような獣肉と抜群の相性。



2017 **ヴィンテージ★ジェームズ・サックリン 95点**:ローストした肉や赤や黒のベリー系果実のアロマが連なる複雑で極めてスパイシーな香り。リボンのように滑らかに流れるシルキーなタンニンを持ち、熟れた赤果実の味わいが主体的に感じられ、エレガントな後味が続く。早飲みも出来るが熟成も効く。《**2019/5/16 掲載**》

■**2016 コメント**■ ブラックベリー、チェリー・リキュール、カシスを思わせる熟れた黒果実の芳醇な味わいを、ダークチョコレートとモカの香りがしっかりと支え、仄かなハーブとスパイスが香る。黒い果実の味わいが際立ち、オリーブと肉屋の香りを思わせるスモーキーで旨味のある香りが下地に広がる。ミディアム~フルボディの暗く深みのある味わいが染み渡るように広がり、余韻の長い満ち足りたフィニッシュを導く。オレンジの果皮を思わせる酸が余韻の長い後味を残す。

2016 **ヴィンテージ★パーカーポイント 96点**:イーデン・ヴァレーの花崗岩質土壌に育つ樹齢70年の古樹から収穫したレイケル・シラーズは、鮮やかでフローラルなアロマに砕いた石のニュアンスが仄かに香り、ブルーベリーのしっかりとタイトに引き締まった果実味が広がる。ミディアム~フルボディの引き締まった凝縮感のある味わいで、熟成力の高さを感じさせる。恐らくパウエルのワインの中で最も北ロースのワインに近いスタイルと言える。《**飲み頃:2022-2035年 | #238/2018/9/1 掲載**》 他誌評価):★**ワインスペクテーター 92点**

2016・2017 Kraehe Marananga Shiraz

上代価格 ¥75,000(税別)

クレー・マランガ・シラーズ

クレー家は、19世紀半ばにドイツからバロッサ・ヴァレーに定住した初期の入植者で、この一家が所有する土地には、最も古いブドウ樹で樹齢100年以上の古樹が育ちます。この単一畑から産するシラーズは、プラムやダークチェリー、ブラックベリーを思わせる芳醇で豊かな果実味に溢れ、すっきりと洗練された暗く深みのあるタンニンを湛えた骨格の良い味わいが染み渡るように口内を満たします。濃厚で凝縮感のあるゴージャスでユニークなスタイルが引き立ちます。

■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州バロッサ・ヴァレー(サブリージョン:マランガ) 標高:235m 品種:シラーズ 100% Alc:14.5% 樹齢:120年 土壌:鉄鉱石の上に暗い赤褐色のローム土壌が連なる 畑:東向き 醸造:開放型のコンクリートタンクで発酵。1日に2回ルモンタージュ。バスケット・プレスで圧搾し、樽に移して野生酵母でマロラクティック発酵させた後、フレンチオークのバリック(樽板の厚みが通常の2倍の45ミリあるドミニク・ローランの樽)で22ヶ月熟成させ、無濾過・無清澄で瓶詰。生産量:155ケース

■**2017 コメント**■ 煮詰めたプラムや耕した土、オリーブタプナードの香りがグラスから溢れるように香り立つ。味わいはダークで奥深く、甘いチェリーやブラックベリー・ジャム、ブラッド・プラムの風味が感じられる。フレッシュで生き生きとした酸がシルキーで滑らかなタンニンを引き立て、ワインに長期熟成に耐え得るしっかりと骨格を与えている。今後20~30年間の飲み頃。牛肉や鹿肉、熟成させたハードチーズなどと抜群の相性。



2017 **ヴィンテージ★ワインスペクテーター 97点**:ヴィンテージ物の葉巻やスマイレの花の砂糖漬けの香りが飲み始めに香る、非常にリッチで独特の個性が光るワイン。クリームソーダやマラスキーノ・チェリー、フランボワーズやとろけるチョコレートの豊かな香りが徐々に表れ、豊潤さを増してゆく。しなやかで滑らかな口当たり。纏まりのある緻密な味わいで力強い後味を生む。生産量200ケース。《**飲み頃:2020-2036年 | 2020/9/9 掲載**》

■**2016 コメント**■ マラスキーノ・チェリーとダークプラムの香りを主体とする表情豊かなアロマに、獣肉や石炭、タール、ブラックオリーブの風味が香る。暗く深みのある味わいで、ブラックベリー・ジャムを思わせる果実味が口内に染み渡るように広がり、力強く骨格の良いタンニンが熟成力の高さを物語る。長期間の熟成が効く寿命の長いワイン。

2016 **ヴィンテージ★パーカーポイント 98点**:2016年のクレー・シラーズは、マランガで育つ樹齢110年の古樹から収穫。シュタイナート・シラーズ同様、ドミニク・ローランの新樽バリックで熟成させることで、鉛筆の削りくずや乾燥スパイスの魅惑的なニュアンスを引き出している。味わいはフルボディで、ブラックベリーやスパイスの風味が豊かに溢れる。実に贅沢でシルキーな味わいで、永遠に続くかと思われる余韻の長い後味と共に、卓越した優美さとエレガンスを湛えている。《**飲み頃:2018-2035年 | #238/2018/9/1 掲載**》 他誌評価):★**ジェームズ・サックリン 94点**

シュタイナート・フレックスマンズ・シラーズ

イーデン・ヴァレーで最高のテロワールを誇るフラックスマンズ・ヴァレーの小高い丘の上に樹齢 120 年以上のパロッサで最も貴重な古樹が育つシュタイナート・ヴィンヤード。海拔 480m の冷涼な高地で長い時間をかけてゆっくりと成熟したブドウは、見事な複雑味と素晴らしくエレガントで力強いタンニンを備えた凝縮感ある卓越した味わいに仕上がります。



■**テクニカル情報**■ 産地:南オーストラリア州イーデン・ヴァレー(サブリージョン:フラックスマンズ・ヴァレー) 畑の標高:海拔 480m
 品種:イーデン・ヴァレー・シラーズ 100% 樹齢:120 年以上(1890 年植樹) 土壌:粘土に砂利と石英を多く含むローム土壌が連なる
 Alc:14.5% 醸造:ブドウは除梗し、開放型のコンクリートタンクで 1 日に 2 回モンタージュしながら 10 日間かけて発酵。澱引きし、果皮をバスケット・プレスで優しく圧搾し、タンニンの抽出を促進。ドミニク・ローランのパリクに移して野生酵母でマロラクティック発酵させ、新樽に移し替えて 18 か月熟成。無濾過・無清澄で瓶詰。生産量:150 ケース(2016&2017)/200 ケース(2014&2015)

■**2017 コメント**■ 非常に暗く深みのあるワインで、黒い核果実や森のベリーのアロマをスミレや濡れたクオーツの香りが引き立てる。味わいは重厚だが高揚感があり、砂利質土壌のニュアンスが香るタンニンがコロコロと転がるように口内を満たし、ワインにしっかりと骨格を添え、後味まで続く。今後 30 年以上にわたり格別な飲み頃が続く。肉料理や熟成させたハードチーズと最高の相性。

2017 ヴィンテージ★ワインスペクテーター93 点:焼いたハーブやチコリ、緑茶、タール、ローム質の大地の香り、歯に深く染み込んでゆくような筋骨隆々としたタンニンがブルーベリーやブラックベリーの風味と共に溶けあう。しっかりと引き締まった後味は、硬質だが途轍もない濃厚さと凝縮感を感じさせる。生産量 200 ケース。《**飲み頃:2020-2030 年 | 2020/9/9 掲載**》

2016 ヴィンテージ★パーカーポイント98 点:パウエルの 2016 年シュタイナート・シラーズは、その価格帯さながら、イーデン・ヴァレーの新たなアイコンワインと呼ぶに相応しい風格を備えている。イーデン・ヴァレーでもひととき冷涼な気候を持つフラックスマンズ・ヴァレーに育つ樹齢 120 年以上のシラーズから作るこのワインは、ガリーグ、焼きスパイス、ブラックチェリー、ラズベリーの複雑なアロマが豊かに溢れる。クリーミーなテクスチャーを湛えた贅沢な味わいのフルボディで、赤果実と濡れた石の香りがこだまのように広がり、永遠に続くのではないかとと思われるほどの余韻の長い後味を生む。《**飲み頃:2020-2040 年 | #238/2018/9/1**》 他誌評価):★**ワインスペクテーター95 点** ★**ジェームズ・サックリン 96 点**

2015 ヴィンテージ★パーカーポイント97+点:イーデン・ヴァレーで最も冷涼なフラックスマンズ・ヴァレーに位置する 2 ヘクタール程のこの小さな単一畑には、樹齢 120 年を超える古樹のシラーズが育つ。2015 年シュタイナート・シラーズは、深いガーネット・パープルを湛え、美しい赤スグリ、ブラックチェリー、ブラックラズベリーのアロマに、仄かな胡椒とスパイスの箱のニュアンスが感じられ、そよ風のようなバラの花の香りが一瞬ふわりと香る。ミディアム〜フルボディの極めて濃厚な味わい。よく熟れた赤いベリー系果実とスパイスの風味が幾層にも層を成して表れ、香り豊かな後味が長い余韻を残す。《**飲み頃:2018-2038 年 | #229/2017/3/1 掲載**》 他誌評価):★**スペクテーター94 点** ★**ジャンシス・ロビンソン 18/20 点**

2014 ヴィンテージ★パーカーポイント97 点:外観は深いガーネット・パープル。ブラックベリー、乾燥した桑の実、プラムのアロマに、サンダルウッド、熟成肉、卸したての革、獣肉、酵母、スパイスの箱の複雑で奥深い香りが広がる。味わいは凝縮感あるフルボディで、様々な風味が層を成し、豊かなフィネスとキメ細やかな熟れたタンニン、フレッシュ感が溢れ、大地の香りを帯びた余韻の長い後味が広がる。《**飲み頃:2017-2030 年 | #211/2016/6 掲載**》